

平成29年度第1回宮代町立図書館協議会議事録

■日時：平成29年6月20日（火）16時00分～18時30分

■場所：宮代町立図書館研修室

■出席者

- ・委員：遠藤和代、矢澤和江、鈴木清三、葛西博行、宮野紀子、菊地正明、佐藤将行、八重樫元、遠藤充、（欠席：国川恵子） ※順不同、敬称略
- ・指定管理者（㈱図書館流通センター）：清水図書館長、永堀一般チーフ、水口児童チーフ
- ・事務局（宮代町教育委員会）：飯山生涯学習室長、田中主査、小林主任

■次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 自己紹介（委員、指定管理者、事務局）
- 4 宮代町立図書館協議会について ※資料1に基づき事務局から説明
- 5 会長及び副会長選出
- 6 報告・審議事項
 - (1) 平成28年度利用状況・蔵書統計について
 - (2) 平成28年度図書館アンケート結果について
 - (3) 平成28年度期末モニタリング用アンケート結果について
 - (4) 平成29年度事業計画について
- 7 その他
- 8 閉会

■会議概要（1～4省略）

5 会長及び副会長選出

互選により菊地正明氏を会長に決定した。

副会長には、国川恵子氏が互選されたが、本日欠席のため、本人の意向を後日確認の上決定する。

6 審議及び報告事項

- (1) 平成28年度利用統計報告について…図書館長から説明（別添資料2参照）
- (2) 平成28年度図書館アンケート結果について…図書館長から説明（別添資料3参照）

《主な質疑》

委員：土日は駐車場が足りなく路上駐車が発生することがあり、以前の図書館協議会の際に対策を検討するとしていたが、どのような対応をしているのか。

図書館：保健センターと協議して、保健センターが土日の事業等がない時は、駐車場を貸出してもらえることになった。

その他、利用者アンケートの結果及び頂戴したご意見やご要望への回答については、館内に掲示させていただいている。

委員：利用状況（資料2）の入館者数は、どのように把握しているのか。また、入館者

数や登録者数、貸出者の年代別のデータを抽出、提供することはできるのか。今後、これまで以上に高齢者が増えていく中で、高齢者の利用状況やニーズを把握しておくことは必要だと思う。

図書館：入館者数は正面出入口に取り付けてある機械でカウントしている。登録者の状況については、利用カードの登録情報により把握することは可能。貸出者の年代別等の傾向については、システムを操作、改修する必要がでてくるかもしれないが、次回会議において何らかのデータを提供させていただく。

委員：資料2の別紙1 図書館ビジョンの参考資料1に掲載されている平成20年度以降の入館者数、登録者数の推移の統計資料を提供してほしい。

事務局：平成21年度～平成28年度のデータを、次回会議で提供させていただく。

(3) 平成28年度期末モニタリング用アンケート結果について

…平成28年度の図書館協議会委員を対象に実施した標記アンケートに記載された意見、指摘事項等（別添資料4）への対応、見解等について図書館長及び事務局から説明

【1. 町民ニーズに対応した利用者サービスの改善】

・開館時間の見直しについて

⇒（事務局）平成27年度に、より一層のサービス向上を図る観点から開館時間の見直しの検討を始めたが、現行の予算の範囲内で実施するという前提にせざるを得ない状況の中で、開館時間を早めると閉館時間も早める必要が生じてしまい、早い開館を望む声と遅くまでの開館を望む声のいずれかを優先すべきか、ということになる。夏場と冬場などの季節ごとの設定なども検討したが、非常にナーバスな問題であり、正直なところ、具体化に向けての検討が進んでいないというのが現状である。今後、次期指定管理者の選定を行う平成32年度までに、先ほど説明した図書館ビジョンの更新を行う必要があるため、この中で開館時間のあり方についても整理していきたいと考えている。

・延長制度導入の効果

⇒（図書館）過去には、返却してすぐに借りることを繰り返して、半年もの間おひとりで独占する利用者があり、他の利用者から苦情があったことから、延長貸出の制度のPRを行いつつ、その延長期間満了後は一旦返却していただき、書架に戻るまでは貸し出せないというルールを設定させていただいた。書架に戻る前の資料がなぜ貸し出せないかという苦情をいただくこともあるが、これにより延長を含め最大で4週間の貸出期間が守られるようになったということが効果としてあげられる。また、最近では、延長貸出しの制度が浸透してきており、返却時に延長札をご自分で挟んで貸出カウンターへ来られる方が増えていることも効果の一つと考えている。

・スタッフの接遇

⇒（図書館）お気軽にお尋ねくださいと明示した黄色い腕章をつけて配架や書架整理しているが、今後もより一層のサービス充実に努める。

・障がい者サービスについて

⇒（図書館）より多くの方々に図書館や資料を活用いただくために、PC-Talker（視覚障がい者向け音声読み上げ機能のあるパソコン）の設置、点字資料、大活字本、

議会だより・広報みやしろの大型版、議会だよりの CD 化、難読者向け電子図書など準備している。これらの PR をしたいが、ニーズ等の実態の把握ができていない。役場や社会福祉協議会に協力を求めながら、ニーズの把握や普及活動に取り組んでいきたい。

・移動図書サービスの再開について

⇒（事務局）現在は、移動図書館車がないため、以前実施していたようなサービスの再開は不可能であるが、指定管理者とともに、地域の集会所等を拠点とした高齢者向けの団体貸出しや宅配サービス等を検討していく。

・整理休館日について

⇒（図書館）館内整理日は毎月第 4 金曜とする案を検討したが、やはり月末日もしくは翌月初にしかできない作業があるので現状通りとさせていただいた。なお、館内整理日の告知を図書館玄関に大書するなど対策をさせていただく。

・図書館のスタッフが、雑務やイベントでレファレンスや本に対する時間が取れないのではないのか。

⇒（図書館）ご指摘のとおり、利用者の皆様の要望に応えるため業務量は増えているが、イベントについては新たな図書館利用者を発掘する意味でも重要であると考えている。研修やセミナーへの参加については、シフトをやりくりして計画的に実施しており、埼玉県図書館協議会主催の児童サービスの研修、障がい者対応の研修、障がい者サービスの研修、相互貸借の意見交換会（セミナー）。学校図書館協議会主催の YA 読書の研修、ビブリオバトルの研修。TRC 本社研修の学校図書館支援の研修、レファレンス研修、電子資料研修、子ども読書セミナー、ビブリオバトルの研修に参加している。

・入館者数、貸出数が横ばい。革新的な対応改善方法はないのか。

⇒（図書館）先ほどの移動図書館の回答と同様になるが、自治会等への団体貸出を検討するなど、経費を見ながらブックモバイル（図書館を利用しにくい地域や方々への図書館サービスの提供）の検討を行っていきたい。

・休館日、蔵書点検日について

⇒（図書館）休館日については、指定管理者制度の導入前の町の運営時と比べると大きく減っている。蔵書点検日は PC の数、IC 読み取りハンディの数に制限があり、また、棚の移動、避難訓練を実施する必要などもあり 6 日間は必要である。

・遮音について、展示ホールに遮音のためのパネルを設置してほしい。

⇒（図書館）透明パネルについては、経費の問題で難しい。また、実際に透明パネルを設置してもどの程度の効果があるのかもわからない。

2. インターネット、IT を利用した利用者サービスの展開

・貸出予約をスマホでできるようにしてほしい。

⇒（図書館）検索画面はスマホ対応になっている。ホームページについてもスマホ対応を検討しているが、予算の関係で実施に至っていない。

3. 魅力ある蔵書構築と情報提供能力の向上

- ・蔵書構成・計画について
 - ⇒（図書館）資料収集方針に従い、限られた予算の範囲において、広く浅く選書している。
- ・図書館だよりの配布について
 - ⇒（図書館）これまでは、子育て広場、ぐるる宮代に置いていたが、今月から各公民館、郷土資料館、進修館、保健センター、六花で配布することを依頼済みである。今後は、商工会や日工大へもお願いをしていく。
- ・人気のある本、関心のある本の購入について。
 - ⇒（図書館）基本的には、購入している。しかしながら、予算の状況で、複本については3冊を上限に購入している。
- ・町民からの寄贈を促してはどうか。
 - ⇒（図書館）出版業界のこともあり、積極的には促さない。
- ・文化芸能欄のある夕刊を備え付けて欲しい。
 - ⇒（図書館）予算的に難しい。
- ・町立図書館の人気ベスト10を図書館だよりやホームページで公表してほしい。
 - ⇒（図書館）ホームページに貸出しの多い資料・予約の多い資料は掲載している。図書館だよりにも記載している

4. 子どもの読書活動の推進と小中学校との連携強化

- ・「子ども司書講座」の継続を望む。
 - ⇒（図書館）今年度は、同じ内容で複数回実施し、都合の良い日を選択できるようにした。今年は、合計9名の申し込みがあった。
- ・宮代高校との連携
 - ⇒（図書館）過去に文芸部と連携したことがあるが、司書の先生へコンタクトしていく。
- ・パソコンの持ち込みできるスペースを設けるのはどうか。
 - ⇒（図書館）持ち込みは可能であり、スペースも設置してある。

5. 柔軟で弾力性のある運営体制の構築と施設の整備

- ・ブース化した読書空間の検討をしてもらいたい。
 - ⇒（図書館）予算的に難しい。
- ・おはなしコーナーのカーペットを新しいものに交換して欲しい。
 - ⇒（図書館）買い替えをする予定で、現在見積り中である。
- ・便座拭きの除菌液があればいい。
 - ⇒（図書館）どういうものか検討したい。
- ・施設、資料を活用した新たな事業を
 - ⇒（図書館）日本工業大学や町在住の専門家の協力をいただきながら、新しいイベントを考えていく。
- ・実用書のコーナーでイスが使えると良い。

- ⇒ (図書館) イスを購入し、試行する。
- ・トイレ個室のフックの取り付け
- ⇒ (図書館) フックの場合、車いすの方の利用を考えた時に設置の位置が難しいことから、台を準備したい。

【(1) ～ (4) に関する質疑応答】

- 委員：話し声や電話の声に対して、もっとスタッフが注意をして欲しい。話している人の側を通っても注意をしていない。
- 図書館：注意はするようになっているが、これからも徹底を図っていききたい。なお、この図書館は開放的な構造であり、カウンターもホールに近いので声が響きやすいということもご理解いただきたい。
- 委員：展示ホールや研修室等を予約する時に、うるさくしないように注意を促したらどうか。
- 図書館：注意の貼り紙の掲示を含めて対応していききたい。
- 委員：以前、指摘させていただいた指を舐めて新聞をめくる利用者の対策として、指サックが置かれるようになった。しかし、蓋付きのケースからわざわざ取り出す人はいないと思う。他の図書館で実施しているように、スポンジやクリームを置く方が良い。
- 委員：新刊書のコーナーがカウンター近くに設けられているが、その本が配架される場所には、最新刊が入っていることが分からない。通常の本棚にも新刊がある旨のアナウンスを出して欲しい。
- 図書館：検討していく。
- 委員：登録者数を増やす努力は。
- 図書館：新小学校1年生におすすめの本を紹介してプレゼントする「らんどせるブック」を実施して図書館利用カードの登録を勧めている。これについては、4ヶ月検診で行う「ブックスタート」で登録をしなかった方や引っ越してきた方の多くが登録をしてくれている。
- 委員：小中学校の入学式時や役場での転入手続きの時に図書館の利用を勧めたり、パンフレットを配布した方が良い。
- 図書館：転入者への役場での配布を検討したい。
- 委員：蔵書統計で、一般書が減っているがその理由は。
- 図書館：汚破損本をまとめて除籍したため。
- 委員：文春などの週刊誌や朝日や読売の夕刊(月500円)の購入を検討して欲しい。
- 図書館：予算の状況から対応は難しい。
- 委員：アンケートにあったカフェについて、新しい村と連携してはどうか。
- 図書館：実際にカフェについてどのような連携ができるのかわからないが、新しい村とは、様々な形で連携を図っていききたい。
- 委員：パソコン利用コーナーでタブレットの充電は可だが、スマホが不可の理由は。1つのテーブルで3人が利用できるようになっているが、2席が埋まっていた時、あとから来た人が座りにくい。あらかじめテープで区割りしてはどうか。
- 図書館：ご意見として、対応を検討したい。
- 委員：登録者数を増やすためには、現在の登録要件である在住・在学・在勤をはずすべき。

図書館：登録の要件を変更するかどうかは役場の判断となる。

委員：相互貸借の返却をブックポストでも可能にしてもらいたい。

図書館：ご意見のような対応をしている図書館があることは把握している。しかし、当館では、ブックポストに返却されると、後から返却される本によってページが折れ曲がったり破損する可能性があり、他館の本は、借りた時と同じ状態で返却したいため、窓口返却のみとさせていただいているところであるが、ご意見として今後検討していきたい。

委員：他の図書館ではブックポストに返却ができています。宮代の図書館は駅からも遠いし窓口返却だけというのはおかしい。

委員：図書館だよりは、駅のラックで空いている時に置かせてもらってはどうか。

図書館：役場や駅に相談しながら対応を検討したい。

委員：雑誌のスポンサー制度や図書館協議会からの提案で導入したパン等の自販機設置など、収入確保の取組をどんどん考えて実施してほしい。

図書館：検討させていただく。

(4) 平成29年度事業計画について・・・図書館長から説明（別添5資料参照）

《主な意見・質問》

委員：今年度準備、翌年度以降の計画でシニア向けの行事はあるのか。

事務局：子供向け以外の一般向け行事の参加者はほぼシニア世代である。行事名をそのままにするのか、シニアに向けたものにするのかは検討の余地があると考えます。

委員：危機管理体制について。緊急時対応マニュアルや消防計画はこれから作成するのか。

図書館：すでに緊急時対応マニュアルや消防計画は作成済みであり、消防署に提出している。年2回の避難訓練は宮代消防署に依頼して行っている。

委員：図書館マナーブックの配布とあるが、見たことがないがどこに置いてあるのか。

図書館：作成した時に配布をしていたが、今は配布していない。

委員：図書館は、新しい興味のある本を買い揃え利用者に提供していくことが重要。全ての本を購入できないと思うが、本を選定する際の基準があるのなら示してほしい。

図書館：図書を選定基準はある。その方針に沿って、広く浅く選書している。

委員：TRCが運営している他市町村図書館の好評事業を取り入れていったらどうか。

図書館：情報収集しながら、当館において可能なものは積極的に取り入れていきたい。

○事務局より連絡事項

次回会議は、11月中旬～12月上頃に開催予定。